

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立二川中学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒441-3154
豊橋市二川町字西向山41番地の10

E-mail futagawa-j@toyohashi.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 301名 女子 263名 合計 564名
幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「地域の伝統芸能文化継承」と「学校林保全活動」を活動テーマとして、ESDを伝統芸能文化学習および環境保護実践の機会と捉え、ESDの実践を通してコミュニケーションを行う力とつながりを尊重する態度の育成を目標とした。

具体的には、地域文化体験講座、二川宿本陣まつり、学校林保全活動を柱に、①地域の伝統芸能文化を体験する学習、②地域の人に貢献し関わる教育、③環境保全に係わる活動を行った。

① 地域の伝統芸能文化を体験する活動

地域文化体験講座は、9月16日(土)文化発表会の日午前中行事として、生徒から希望を募り25講座を実施した。篠笛・わら草履づくり・茶道・つるし飾りづくり・竹細工・折り紙・生け花・和太鼓の体験学習と二川宿本陣・普門寺の歴史学習等を通して地域の伝統文化や歴史に親しみ、またそれらの作法や技法を習得することで、それらを引き継いでいこうとする意欲を高めた。また、11月5日(日)に実施された「二川宿本陣まつり」では、

篠笛の演奏・わら草履づくりの実演を行い、学習の成果を地域へ発信した。

② 地域の人に貢献し関わる教育

「二川宿本陣まつり」では、①に記した習得した伝統芸能の発信に加え、2年生が総合的な学習の時間に学習した成果を発表した。大名行列には40名が参加し、江戸時代絵巻を見守る観衆に披露した。また、メインステージが設置される本陣資料館前の広場では、本陣茶屋として来客への無料茶のサービス、農業豊橋を支える地元二川野菜の販売、寒さを凌ぐみたらし団子や汁粉の販売で共催イベントとして祭りを支える。アナウンスで実況を担当する生徒や時代劇メドレーで吹奏楽部も祭りを盛り上げている。

③ 環境保全に係わる活動

学校林は、校区の北に位置し地盤の安定と国土緑化に貢献している。触れなければ知らないで終わってしまうことであるが、林が私たちの安全で豊かな生活に貢献していることを生徒は「学校林保全活動」を通して知る。この活動は、「岩屋緑地に親しむ会」の皆さんが講師と支援をしてくださる。事前学習では、林の生物と安全対策を学ぶ。2月3日（土）の活動では、健全な間伐状態をつくるための下草刈りと倒木の切り出しを実施した。切り出した木に菌打ちして育てたなめこは、2年後の本陣茶屋で販売する予定である。



① の写真（街道での篠笛演奏）



② の写真（奴に扮する男子生徒）



② の写真（本陣茶屋のだんご販売）



③ の写真（木を倒す）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 休日のボランティア活動)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

「二川宿本陣まつり」への取り組みは、総合的な学習の時間に2年生全員が取り組む内容に設定し、春の職場体験が一段落すると自分の追究する課題を生徒一人一人が設定し学習を深めている。学級担任と講座ごとに指導に当たる教師が連絡を取り合い、生徒の目標と達成状況に合わせアドバイスを送ることでRPDCAサイクルを基調としたスモールステップの課題設定と励ましを行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

地域文化体験学習・二川宿本陣まつり・学校林保全活動は、どれも年間行事計画に組み入れ、校務分掌上も立案・実行ともに組織化して実行している。また、それぞれ地域の支援して下さる担当者がいて、学校担当者が連絡を取り、生徒が動きやすいように調整をしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校生活アンケートでは、生徒・保護者・教師に対して、行事の充実度や地域の人とのつながりについて問う項目を設定している。実際にこの質問項目では、3者ともに高い充実度を表している。課題は、支えてくださる地域ボランティアの方の高齢化があり、後継者が見つからないことである。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

今年は、ユネスコスクール豊橋大会の場で、ポスターセッションの機会を与えていただいた。代表生徒は、自分たちの活動を分かってもらおうとポスター制作とシナリオ作成で工夫し、大勢の前で発表することを通して自分たちの活動に自信を深めることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

「地域伝統芸能文化体験」では地域でそれぞれの芸能や文化を実践する方々、「二川宿本陣まつり」では大名行列保存会・だんご販売を支援してくださる「おやじの会」・野菜を地元から仕入れてくださる農家代表・ステージを設置し進行してくださる担当者などさまざまな方との連携がありこの会が成り立っていることを生徒も理解し、感謝の気持ちを抱いている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクール豊橋大会での発表ではQ&Aのコーナーもあり、説明するだけでなく質問に答える中で自分たちだけの見方でなく、客観的な視点で取り組みを見直すことができた。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校の生徒は、人前で自信がもてない行動になってしまうことが多かった。将来なりたい人のイメージやかなえたい夢をもたせることで、その実現にむけて努力し、自分に自信をもたせたいと考えている。ユネスコスクール豊橋大会の発表をやり遂げたことは、代表生徒が自信をもつ様子を強く感じた。さらに、この体験を多くの生徒に広げるよう発表の機会を設定する予定である。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

「二川宿本陣まつり」では、これまでの活動に加え、大名行列や二川宿について学習し解説をする担当を設定する。本陣資料館など施設の各ブースに立ち、来館者に説明をしたり簡単な質問に答えたりする活動を通して人前に立ち発表できる自分に気づき自信をもたせる。また、この活動を通して地域とのつながりをさらに深める。